

## 第5学年国語科学習指導案

日 時 令和3年10月15日(金) 5校時

授業者 1組 佐藤 宏往 2組 西舘 江里花

学習者 5年1組 25名 5年2組 26名

- 1 単元名 資料を用いた文章の効果を考え、それをいかして書こう  
教材名 「固有種が教えてくれること」 情報「統計資料の読み方」  
「グラフや表を用いて書こう」(光村図書 5年)

### 2 単元について

#### (1) 児童について

これまで児童は、「読むこと」に関して、「見立てる」「言葉の意味が分かること」で、双括型の文章構成や事例の挙げ方などを確かめ、要旨や論の進め方を捉える学習を行ってきた。また、「書くこと」に関しては、「みんなが過ごしやすい町へ」で、資料から文章を引用し報告文にまとめる学習を行ってきた。本単元では、資料と文章とのつながり、論の進め方に関わる図表の効果などについて学習し、目的に合った資料を効果的に使って意見文を書く活動につなげていく。

児童は、大事な言葉や段落相互の関わりに着目しながら、説明的な文章の構造や内容を捉えるなど、説明的な文章を読み取る力を身に付けてきた。また、書くことにおいては、目的に応じて、書くことを選んだり、集めた材料を関係付けたりしながら、報告文を書き上げた。これまでの学習経験を生かし、図表をしっかりと読み取ったり、図表を用いる効果を考えたりしながら、自分の考えを意見文にまとめさせていきたい。

一方、伝え合う活動については、ペアやグループで考えを伝え合ったり、意見をもてないときに確かめ合ったり話し合ったりする活動を取り入れてきた。中には、自分の考えをもてず充実した伝え合いに至らない場面も見受けられたので、視点や意図を明確にししながら、自分の考えを深め広げられる、有用感のもてる伝え合い活動にしたい。

#### (2) 教材について

第5学年「B 書くこと」の指導事項は、「エ 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫すること」であり、「C 読むこと」の指導事項は、「ウ 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすること」である。

本単元は、「読むこと」の説明的な文章教材「固有種が教えてくれること」と、「書くこと」の教材「グラフや表を用いて書こう」で構成される複合単元である。指導の重点は、図表やグラフの扱い方にあり、特に気をつけたいグラフなどの読み取りについては、情報「統計資料の読み方」で取り上げる。「固有種が教えてくれること」は、多様な資料を提示しながら筆者が主張を展開しており、資料を用いた説明のしかたの工夫や自分の考えに説得力をもたせる工夫について考えさせることができる。これをいかして、図表を用いて自分の考えを裏づけながら、意見を述べる文章を書く学習につなげたい。

### (3) 指導にあたって

本単元は、図版と文章との対応を読み取ったり、それらの資料の効果を考えたりすることを通して、自分の表現にもいかすことをねらいとする。そこで、説明的な文章を読み、論の進め方や図表の効果について話し合い、それをいかして、単元の終末では、図版を用いた意見文にまとめることを言語活動として設定する。

説明的な文章の学習では、文章に書かれていることと資料を対照させ、その資料の意図や目的を考えさせ、筆者の説明のしかたの工夫に気付かせていく。また、読み取りの学習を受けて、身の回りには多くの資料を用いて説明されている文章が数多く見受けられることに目を向けさせ、その中の資料を選び、資料の効果や資料から読み取れることなどをまとめ、紹介し合う活動に取り組ませていく。

「書くこと」の学習の始めには、モデル文や児童の作例を提示し、文章構成の特徴や内容をつかませ創作への意欲や以後の学習の見通しをもたせていく。さらに、資料から考えられることを付箋に書き出ししながら、構成を考えたり推敲を重ねたりすることで、自分の文章に説得力をもたせる工夫を図っていきたい。その際、積極的に伝え合う活動を取り入れ、資料から読み取ったことや考えられることを友達と交流したり、資料と文章の整合性を確認し合ったりすることで、自分の考えをより深めたり、考えを広げたりするきっかけとしていきたい。

## 3 単元の指導計画

### (1) 目標

- 情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うことができる。〔知識及び技能〕(2)イ
- 引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができる。〔思考力・判断力・表現力等〕B(1)エ
- 目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりすることができる。〔思考力・判断力・表現力等〕C(1)ウ
- 言葉がもつよさを認識するとともに、進んで読書をし、国語の大切さを自覚して思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。 「学びに向かう力、人間性等」

### (2) 単元の評価規準

知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
①情報と情報との関係づけのしかた、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し、使っている。(2)イ	①「書くこと」において、引用したり、図表やグラフなどを用いたりして、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫している。B(1)エ ②「読むこと」において、目的に応じて、文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしている。C(1)ウ	①粘り強く文章と図表などを結び付けて読み、学習の見通しをもって、読み取った筆者の工夫をいかして、統計資料を用いた意見文を書こうとしている。

(3) 指導と評価の計画 (全12時間)

時	目 標	主な学習活動	伝え合う活動 (形態)	評価規準・評価方法
1	○資料を活用した文章を読んだり書いたりする活動の見通しをもち、学習計画を立てることができる。	・単元名や教材名等から学習を見通し、学習課題を設定する。 ・「固有種が教えてくれること」を読み、学習計画を立てる。	・共感・納得・疑問の視点から、筆者の考えに対する自分の考えを伝え合う。 (グループ→全体)	
2	○文章の構成を押さえて論の進め方を確認し、内容の大体を捉えることができる。	・双括型の文章構成であることを確かめ、中の部分に見出しをつけたり、内容について伝え合いをしたりしながら理解する。	・読み取ったことについて、資料を活用しながら伝え合う。 (ペア→全体)	【思考・判断・表現②】 発言・ワークシート記述 必要な情報を見つけたり、論の進め方について考えたりしているか確認する。
3	○文章と資料を結び付けたり、効果を考えたりして、論の進め方や要旨を捉えることができる。	・文章と資料を対応させながら、それぞれの資料の効果について考える。 ・文章の要旨を150字以内でまとめる。	・条件に沿って要旨がまとめられているか、情報の過不足がないかを確認合う。(グループ)	【主体的に学習に取り組む態度①】
4	○筆者の考えなどについて、自分の考えをまとめるとともに、資料を使った本を読むことができる。	・筆者の考えや資料の用い方について、自分の考えをまとめる。 ・グループごとに、図表などが使われている本や新聞記事を読む。	・共感・納得・疑問の視点から、筆者の考えに対する自分の考えを伝え合う。 (グループ→全体)	発言・振り返りの記述 説明の工夫や筆者の考えを理解し、自分の考えをもととしているか確認する。
5	○統計資料の読み方を理解し、自分が興味をもった資料や文章を読むときにいかすことができる。	・資料を読む際に困ったことや難しかったことを出し合い、解決方法を考える。	・資料を読む際に、困ったことや難しかったことを出し合う。 (全体)	【知識・技能①】 発言・ワークシート記述 情報と情報との関係づけの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使っているか確認する。
6	○資料から読み取れることと、それをを用いていることの効果をまとめ、考えを伝え合うことができる。	・グループごとに、資料から読み取れることと、その効果をまとめ、全体で伝え合う。 ・資料を用いて自分の考えを書く際にいかせることを出し合う。	・お互いの読み方の共通点や相違点に着目しながら、質問や感想などを伝え合う。 (全体)	
7	○文章の構成の仕方を捉え、これからの社会について自分の考えをもつことができる。	・モデル文から、文章構成を捉え、それぞれの要点を押さえる。 ・「社会は暮らしやすい方向に向かっているか」について、自分の考えをもつ。		【思考・判断・表現①】 発言・ワークシート記述 自分の考えが伝わるように、意見と資料、資料から分かる事、自分の考えが対応しているか確認する。
8	○資料を探し、自分の考えの根拠となる図表を選ぶことができる。	・統計資料を読む際の要点を確認し、自分の考えに合った資料を選び、資料から分かったことと、そこから自分が考えたことを書きだす。		

9 ( 本 時 )	○資料から分かる事実と資料から考えられることを確かめ、文章構成を考えることができる。	・小グループごとの伝え合いを通して、自分の書きだしたものを見直し、構成メモにまとめていく。	・お互いの読み方の共通点や相違点に着目し、分かったことや考えたことを伝え合う。(グループ→全体)	【主体的に学習に取り組む態度①】 <u>発言・振り返りの記述</u> 説明の工夫をいかし、意見文を書こうとしているか確認する。
10	○考えが伝わるように書き表し方を工夫し、下書きをまとめることができる。	・モデル文を読んで書き表し方の要点を確かめ、下書きをまとめる。		
11	○下書きを推敲して、図表やグラフの用い方や書き表し方を見直し、文章を完成させることができる。	・文章構成や書き表し方の要点を確認し、下書きを読み合う。 ・伝え合いを受けて、改めて下書きを見直し、清書する。	・要点に沿って書かれているかに着目しながら読み、よい点や改善点を伝え合う。(グループ)	【思考・判断・表現①】 <u>発言・振り返りの記述</u> 考えを伝えるために書き表し方を工夫しているか確認する。
12	○これまでに注意してきた観点を意識して文章を読み合い、よいところを見つけることができる。	・交流をする際の観点を確かめ、文章を読み合い、気づいたことを伝え合う。 ・資料を使った文章の読み方や書き方を想起し、振り返る。	・書いた文章を読み合い、よさや質問、感想などを伝え合う。(グループ→全体)	

#### 4 本時の指導 (9 / 12 時)

##### (1) 本時の目標

「資料から分かること」と「資料から考えられること」を確かめ、文章構成を考えることができる。

##### (2) 本時の評価規準 (学習者の姿)

概ね満足できる姿	自分の考えが伝わるように、意見と資料、資料から分かること、資料から考えられることが自分の意見の裏付けとなるように書かれ、文章構成に位置付いている。
努力を要する学習者への支援	・取材メモのモデルに注目させ、見通しをもたせる。 ・資料から読み取った事実から、どんなことが考えられるか具体的に考えさせる。

(3) 本時の展開

段階	学習活動 (○主発問 ・予想される学習者の反応)	指導上の留意点 評価方法
導入 5分	<p>1 前時までの学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見に合うグラフや表を選んだ。</li> <li>・「資料から分かること」を取材メモに書いた。</li> </ul> <p>2 課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>① 取材メモの内容を確かめ、文章構成を考えよう。</p> </div> <p>3 課題解決の見通しをもつ。</p>	
展開 35分	<p>4 「資料から考えられること」を取材メモに書き出す。</p> <p>○「資料から考えられること」の書き方を確かめましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>資料から考えられること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自分が考えたこと (肯定的立場) 良さ 予想されること (否定的立場) 心配される点 影響が考えられること</li> </ul> </div> <p>5 書き出した取材メモをもとに伝え合う。</p> <p>○同じ資料を選んだ人同士で伝え合いをしましょう。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>伝え合いの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 資料と取材メモの内容が対応しているか確かめる。</li> <li>イ 共通点 違っている点⇒考えた根拠が明確かどうか</li> <li>ウ 感想 (良い所 もっとこうすれば良いという所)</li> </ul> </div> <p>○伝え合って良かったという感想を紹介してください。</p> <p>6 取材メモの内容を見直し、構成表にまとめる。</p> <p>7 学習のまとめをする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>グラフや表を用いて書く ポイント</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・意見と資料と自分が考えることが対応していること。</li> <li>・「資料から分かること」「資料から考えられること」を加えると説得力が増す。</li> </ul> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・第5時、第6時の学習を想起させる。</li> <li>・各事例と、実験の結果、自分の経験などを振り返りながら内容を押さえる。</li> </ul> <p><b>〈伝え合い〉 (小グループ→全体)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・同じ資料を選んだグループ同士での伝え合いでは、資料と文章との内容に問題がないか、共通点、相違点を比べる。</li> <li>・全体の伝え合いでは、数人に発表させたり、付箋を提示したりすることで、さらに考えを広げられるようにする。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループで話し合った内容を受けて、自分の考えを明確にし、構成メモにまとめる。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p><b>【思考・判断・表現①】</b></p> <p>発言・ワークシート(構成表)</p> <p>自分の考えが伝わるように、意見と資料、資料から分かる事、資料から考えられることが対応しているかを確認する。</p> </div>
終末 5分	<p>8 本時の学習を振り返る。</p> <p>9 次時の学習を知る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今日の学習で、自分にとって参考になったことや役立ったことなどを考え、振り返りカードに書く。</li> </ul>

#### (4) 板書計画

グラフや表を用いて書く

① 取材メモを確かめ、文章構成を考えよう。

グラフや表を用いて書く

図表

取材メモの作例

〈資料から考えられること〉

- ・自分の考え
- ・具体的な良さ
- ・心配されること

伝え合い

ア資料とメモの内容が対応しているか  
イ共通点 や ちがっている点  
ウ感想

構成メモ拡大図

グラフや表を用いて書く ポイント

- ・意見と資料と自分の考えることが対応していること
- ・「資料から分かること」「資料から考えられること」を加えると説得力が増す